

産学官連携について

1. 高知女子大学

高知女子大学では、年間複数回の公開講座や専門職の方々の知識や技術の向上を図るための講座を開講することにより、地域に開かれた大学として社会人教育に貢献するとともに、地域産業をリードする職業人の再教育を行う。

(1) 県民開放授業(県民に文化学部講義を無料で開放)

場所 永国寺キャンパス 42講座、各講座定員2~5名

内容 「正岡子規と近代文学」、第2言語取得のメカニズムをさぐる等

(2) まちかど文化談義(週1回程度、文学等の講義を実施)

場所 市内の飲食店、永国寺キャンパス 各講座定員15名~30名程度

内容 「恋路の果てー西鶴「本朝若風俗」より」、「戦国時代の山城を巡って」など

(3) 最新実践看護講座(地域の看護職の方々に最新の看護の実践例を公開)

場所 池キャンパス 募集人員100名

内容「高齢者の有終の美を飾るケア」「医療事故とリスクマネジメントの現状と課題」

(4) 公開講座

場所 池キャンパス 募集人員40名

内容「呼吸器・循環器のフィジカルアセスメント」「患者・家族の歩み出す力を支える看護」

2. 高知工科大学

高知工科大学では、主に社会人を対象に土日開講の起業家コースを設置し、事業経営に必要な必要な知識、方法、戦略を多くの経営実践の事例に基づき教育研究し、経営的な視点を有する事業経営者等を育成する。また、公開講座や県民向けの講演会などを実施することにより、地域に開かれた大学として社会人教育に貢献する。

(1) 大学院起業家コース(主に社会人対象、土日開講のコース)

場所 香美市キャンパス、遠隔授業システム活用により、東京、大阪、及び永国寺キャンパスの双方向リアルタイム授業 学生数 41人

内容 経営戦略論、マーケティングリサーチなど18の科目の講義とセミナー

(2) 永国寺キャンパスサテライト教室

場所 永国寺キャンパス

内容 H.22.10.10の起業家コースの講義から、初学者にふさわしいものを選定し、学生以外に無料で開放

(3) 公開講座

場所 香美キャンパス、永国寺キャンパス

内容「地域活性化システム論Ⅰ・Ⅱ」「宇宙が教えてくれること」など

(新) 社会人自己啓発モデル事業

予算見積額：2,980千円

【目的】

- ・県内の公立高等学校定時制のカリキュラムの内容に、資格取得やキャリアアップにつながる内容を導入したり、新たに科目を設置することで、昼間働く社会人が、年間を通じて学べる機会を提供する。
- ・授業内容の専門性をより高めるために、教員は県内外から専門家を講師として招聘するなど、事業推進を支援する。

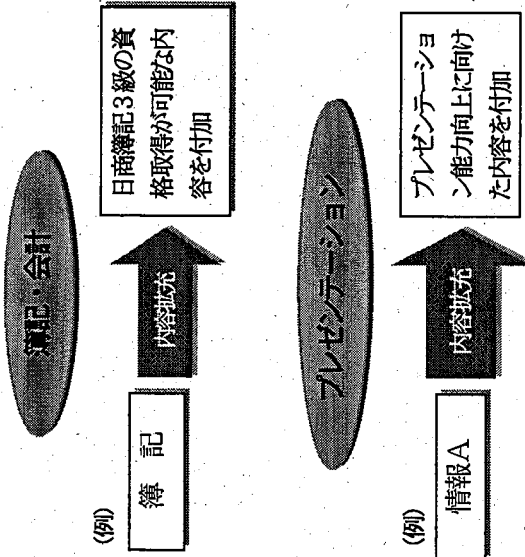
定時制課程の高校と連携

「高知県の公立高等学校 定時制課程」13校

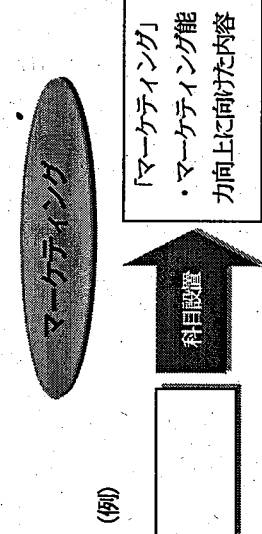
- 【幡多地域】
 - ・大方高校 (夜間部・通信制)
 - ・宿毛高校 (定時制)
 - ・清水高校 (定時制)
- 【物部川地域】
 - ・山田高校 (定時制)
 - ・高知東工業高校 (定時制)
- 【高幡地域】
 - ・須崎高校 (定時制)
- 【仁定川地域】
 - ・高岡高校 (定時制)
 - ・佐川高校 (定時制)
- 【高知市地域】
 - ・高知工業高校 (定時制)
 - ・高知北高校 (夜間部・通信制)
 - ・高知商業 (定時制)
- 【安芸地域】
 - ・室戸高校 (定時制)
 - ・中芸高校 (夜間部)

聴講制度の拡充

既存の科目の有効活用



商業科目・学校設定科目の設置



商業科教員(授業担当)

サポート

- 【専門講師を派遣】
 - ・各講座に県内外講師を年間8回程度派遣
- 【テキスト支給】
 - ・各講座使用テキストを受講生に支給
- 【広報活動サポート】
 - ・聴講生募集をサポート

期待される効果

- ・勤労する社会人の学ぶ機会(場)が増える。
- ・学習した内容が自身のキャリアアップにつながる。
- ・既存のカリキュラムの有効活用により、教員の資質向上につながる。
- ・豊かな知識や技能、経験を有する退職者や高齢者の人材活用につながる。
- ・中小企業の教育訓練の支援を行うことができる。

文部科学省科学技術振興調整費

「土佐フードビジネスクリエーター人材創出(土佐FBC)」の取り組みについて

H22.12.22 県計画推進課まとめ

1 目的

大学での食品製造・加工や品質管理技術等の技術に関する講義、マーケティングや経営学などマネジメント等に関する講義と、高知県工業技術センター等において現場レベルでの実習からなる教育プログラムを実施し、今後の地域における食料産業を支える中核人材を養成していくことを目的とする。

2 実施期間(予定)

平成20年度～平成24年度(5年間)

3 連携自治体

平成20年度～21年度 南国市、香美市、香南市

平成22年度～平成25年度(予定) 高知県(3市を中心に県全域に拡大)

4 研修コース(年限、募集人員)

・Aコース(2年間) 5人程度

食料産業の経営から開発までを担える中核人材を養成。養成人材は各企業等で中核業務を担っていくことを想定しているが、さらに将来当プログラムの受講生に対する指導を担うことを期待。

・Bコース(1年間) 5人程度

技術力を有した食料産業従事者を養成。養成人材は自ら商品開発や分析・管理等の技術業務を担えるスキルと考え方を身に付ける。

・Cコース(1年間) 5人程度

経営的な視点を有する農業従事者を養成。養成人材は農業をマネジメントの視点から指導できる地域のリーダーとして貢献。

5 実績

<平成20～21年度>

○修了生31人(うち、地域内定着28人 定着率90%)

養成修了人材の活動例

- ・県内量販店から地産外商公社へ出向
(首都圏アンテナショップ物販部門店長)
- ・農産物生鮮・加工企業所属(生姜リキュール開発)
- ・地域の農産物加工グループ代表(加工品の開発製造、量販店で取扱)
- ・市職員から転身し、地元柑橘を使ったジェラート店を起業 など

<平成 22 年度>

○新規受講生30名

- ・ Aコース 4人(研修期間：2年間)
- ・ Bコース 11人(研修期間：1年間)
- ・ Cコース 15人(研修期間：1年間)

○今年度から高知県域に対象を広げ、さらに広域での人材を育成する体制を整えている。

6 県の関与

○県工業技術センターによる講義・実習等

○文部科学省科学技術振興調整費の前提となる内閣府の地域再生計画に高知県が主体として参画

○平成 22 年度より、土佐FBC人材創出企画運営委員会などのメンバーに、県計画推進課長が参加

調整中

健康栄養学部 20人→40人

・ 永国寺キャンパス生活科学部健康栄養学科を学部昇格し、キャンパス移転。

・ 特色のある教育体制

医療センターとの連携、3学部間連携教育プログラムの実践などにより、特色ある教育を行うことで、学生確保にもつながる魅力的な教育体制を作る。

学部拡充に併せて大学院教育を充実し、看護教育等の高度化を図る。

(2) 永国寺キャンパス

社会貢献をする「知の拠点」のキャンパス

・ 社会科学系学部の設置

高知工科大学と連携した社会科学系教育の場を整備し、社会人教育も展開する中で、県経済の活力再生のために役立つ人材育成を行う。

・ 文化学部

永国寺キャンパスに存続し、生涯教育等を拡充する。

・ 生活科学部

生活科学部は改組・転換することとし、環境理学科、生活デザイン学科は、その教育研究実績や人的資源の活用を検討していく。在学生は、卒業するまでは永国寺キャンパスに在学する。

健康栄養学科は学部昇格し、池キャンパスに移転。

・ 短期大学

当面存続し、新たな社会科学系教育の場の整備にあわせて、そのあり方を検討する。

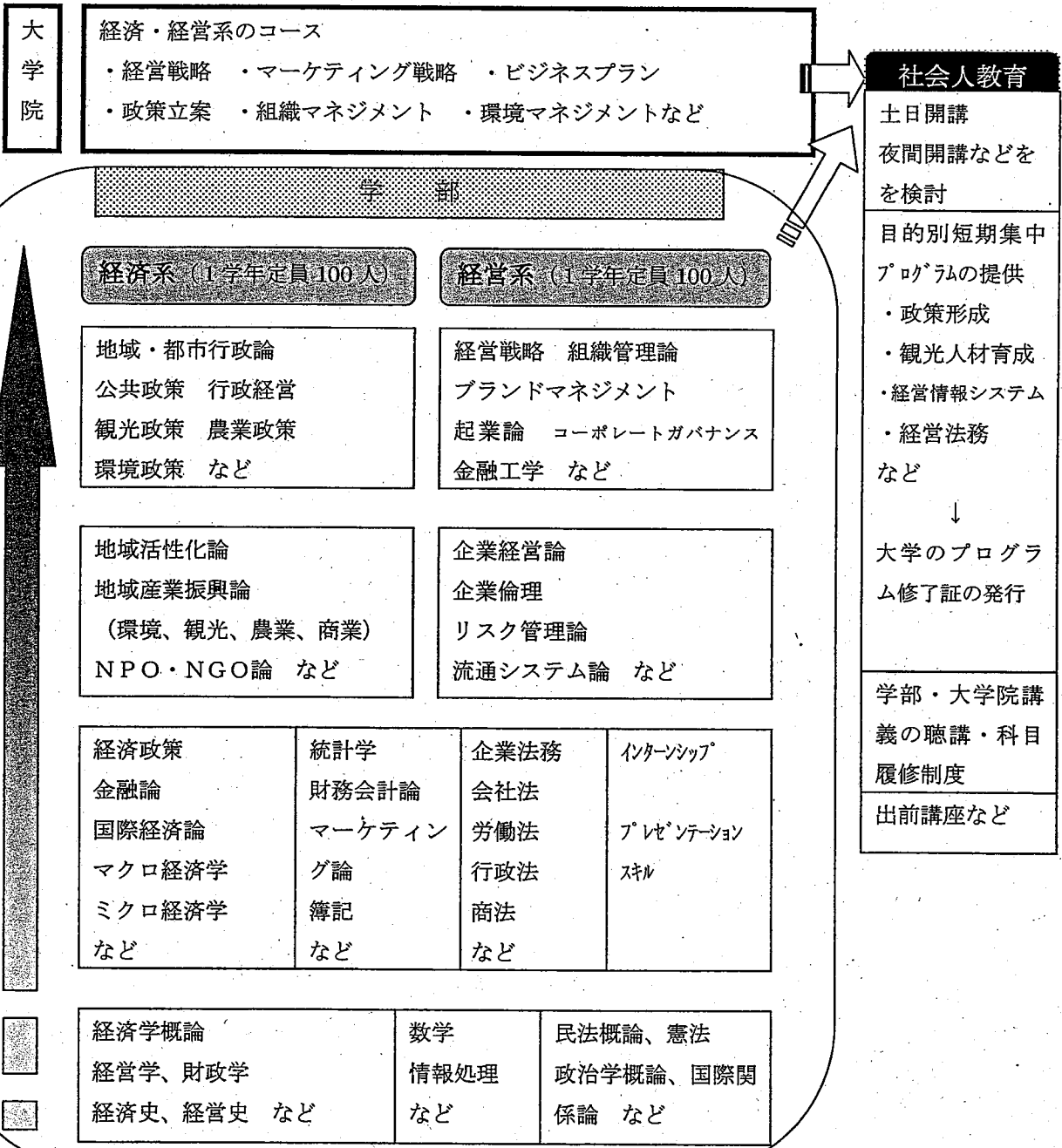
4 今後の進め方

- ・ 7月議会でご審議をいただき、ご意見を踏まえて、9月議会で池キャンパスの関連整備予算を提案したいとの考え。

検討会の社会科学系学部構想案

【設置の目的】
 ・ 県内高校生の進学先の拡充と、地域の再生や発展に貢献できる人材の育成

【教育理念・目標】
 ・ 地域の再生や発展に貢献できる人材を育成するために、経済・経営系の分野をベースに教育を行い、地域の企業・経済活動の活性化や、行政における政策立案のための実践力を身につける。



※この構想案は、高知工科大学マネジメント学部 (入学定員 100 人) の改組拡充を基幹部分として含んでいます。

県立大学改革プランについて

現在

学部定員 入学定員(4学年) *注1 *注2	
看護学部	45名 (170名)
社会福祉学部	30名 (120名)
池合計	75名 (290名)
文化学部	80名 (320名)
生活科学部	60名 (240名)
・環境理学科 20名 ・生活デザイン学科 20名 ・健康栄養学科 20名	
女子大永国寺	140名 (560名)
<女子大合計>	215名 (850名)
社会科学部	120名 (240名)
永国寺全体	(800名)

工学部 (5シフト学科)	360名 (1740名)
マネジメント学部	100名 (100名)
工科大学合計	460名 (1840名)

(*注1) 入学定員は、平成20年度現在

(*注2) 4学年は、平成20年度の収容定員

今回提案

平成22年4月時点

保健・医療・福祉のキャンパス 「日本一の健康長寿県づくりの拠点」	
看護学部	80名 (215名)
社会福祉学部	70名 (160名)
健康栄養学部	40名 (100名)
池合計	190名 (475名)
文化学部	80名 (320名)
再編	
生活科学部	(120名)
・環境理学科(2~4学年) 募集停止 60名 ・生活デザイン学科(〃) 〃 60名	
永国寺合計	80名 (440名)
<女子大合計>	270名 (915名)
短大社会科学部	120名 (240名)
◎サテライト教室などの展開 (マネジメント・地域再生教育、社会人講座)	
永国寺全体	(680名) (+サテライト教室)

工学部 (情報学群) (システム工学群) (環境理工学群)	360名 (1540名)
マネジメント学部	100名 (300名)
工科大学合計	460名 (1840名)

<再編等>

①保健・医療・福祉のキャンパス
<日本一の健康長寿県を目指す。>

②社会貢献をする「知の拠点」の
キャンパス
<社会科学系、社会人教育の充実>
・人づくり、産業振興

③工学、産業振興のキャンパス
<地域の活性化(産業振興)>

将来構想(試案)

保健・医療・福祉のキャンパス 「日本一の健康長寿県づくりの拠点」	
看護学部	80名 (320名)
社会福祉学部	70名 (280名)
健康栄養学部	40名 (160名)
池合計	190名 (760名)
社会貢献をする「知の拠点」のキャンパス (文化・社会科学系学部、社会人教育・生涯学習)	
文化学部	80名 (320名)
生活科学部	(0名)
新学部	200名 (800名)
永国寺合計	280名 (1120名)
<女子大合計>	470名 (1880名)
高知短大	(0名)
永国寺全体	(1120名)

工学、産業振興のキャンパス ・産業振興による県勢浮揚 (工学、社会科学)	
工学部 (情報学群) (システム工学群) (環境理工学群)	360名 (1440名)
(マネジメント学部)	100名 (400名)
工科大学合計	460名 (1840名)

女子大機能と工科大機能により
社会科学系学

◆第1ステップ

- 健康長寿を支える人材養成を通じた女子大学の新たな魅力・特色づくりと進学機会の拡充
- 人づくり、産業振興に資する社会人教育等の機能の充実

【池キャンパス】

- 保健・医療・福祉を支える有能な人材を養成 = 日本一の健康長寿県づくりに寄与する人材の育成 → 看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部が集結することで、特色のある教育カリキュラムを実践
- 大学院での教育研究の充実による看護教育等の高度化
- 3学部の定員増により進学機会を拡充

【永国寺キャンパス】

- 文化学部の存続
- 生活科学部の2学科の募集停止(2~4学年は卒業まで永国寺に在学)
- 社会人教育、生涯学習の充実
- 社会科学系教育の展開
・工科大学のサテライト教室など

【香美市キャンパス】

◆第2ステップ

- 永国寺キャンパスを県民に開かれた「知の拠点」に
- 香美市キャンパスを「工学、産業振興の拠点」に
- 工科大機能の一部を永国寺に設置

【永国寺キャンパス】 「知の拠点」

- 工科大学の社会科学系と連携した新たな学部の設置し、進学機会の拡充
- 社会人教育、生涯教育の拠点
- 県内大学のサテライト教室
- 社会貢献機能

【香美市キャンパス】 「工学、産業振興の拠点」

- 産・学・官の連携による産業振興のための研究拠点
- 産業振興による県勢浮揚に寄与する人材育成

<課題>